

## 令和4年度第6回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和4年11月9日（水）18:00～19:10

【場 所】 浜益支所2F 庁議室

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 地域自治区と地域づくり基金（地域自治区振興事業）について
- 3) 令和4年度地域自治区振興事業の実施状況について
- 4) 過疎計画補足資料
- 5) 令和5年度地域自治区振興事業について
- 6) アンケート調査へのご協力について

【出席者】 10名（13名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
会長	渡邊 隆之	○	委員	渡邊 真奈美	○	委員	水崎 理	○
副会長	佐藤 晃一	○	委員	阿部 ゆかり	○	委員	徳田 和之	○
委員	岡本 俊介		委員	木村 美幸	○	委員	柿岡 奈々絵	○
委員	久慈 貞子		委員	徳地 克実	○			
委員	鳴海 翔		委員	赤間 香子	○			

（支 所） 高橋支所長、開発市民福祉課長（併 浜益生涯学習課長）  
伊藤市民福祉課保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、浜益国保診療所庶務課長）  
川村集落支援員

（本 庁） 宇野企画課長、芳賀主査

（事務局） 佐々木地域振興課長、佐藤（慎）主査

【傍聴者】 4名

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
  - (1) 地域自治区振興事業の成果について
- 4 協議事項
  - (1) 石狩市過疎地域持続的発展市町村計画の達成状況に関する評価について
  - (2) 令和5年度地域自治区振興事業について
  - (3) 浜益区地域おこし協力隊及び集落支援員について
- 5 その他
- 6 次回の開催日程について
- 7 閉 会

## 1 開 会

### 【事務局】

令和4年度第6回浜益区地域協議会を開会いたします。

## 2 会長あいさつ

### 【渡邊会長】

日一日と日が短くなりまして、山々も紅葉し、秋の深まりを感じています。今年は、サケも豊漁であり、浜益産米も豊作であったと伺っております。新型コロナウイルス感染者数も一時は減少に転じましたが、ここ最近、急増しておりますことから、普段からの感染予防対策の徹底に努めていただきたいと思います。

さて、今日の議題は、報告事項として、地域自治区振興事業の令和4年度の成果、協議事項として、石狩市過疎地域持続的発展市町村計画の達成状況に関する評価、そして令和5年度地域自治区振興事業となっております。委員の皆様の忌憚のないご意見をいただきたいと思います。少子高齢化が進む浜益区においては過疎計画や地域自治区振興事業等の実施によって、定住人口等の減少を少しでも抑制し、地域の持続的発展と地域に暮らす方々が生きがいをもち、安心安全に、そして心豊かに暮らすことができるよう、皆さんと協議していききたいと思います。

### 【事務局】

本日の会議は、出席委員が13名中10名出席と過半数に達しておりますので、成立していることをご報告いたします。

## 3 報告事項

### 【渡邊会長】

報告事項に入ります。地域自治区振興事業の成果について事務局から説明をお願いします。

### 【事務局】

地域自治区と地域づくり基金についての資料を基に説明します。地域自治区振興事業は平成17年に地域づくり基金として1億円を積み立てた基金を元を実施しています。実施する事業は、毎年、事前に協議会の皆さんの承認をいただき実施しています。令和3年度までは延べ65事業を実施して参りました。令和4年度については3つの事業を実施、または予定しております。資料の3ページ目をご覧ください。

まず、区民カレンダー制作事業です。毎年皆様のご自宅にも配布されていると思いますが、令和4年度作成版については、12月頃から令和5年度の行事日程等の収集を始め、令和5年3月末に完成させる予定です。また、最近の様々な物価上昇による影響を受けることを踏まえ、今まで使用していたプラスチック部品や、金属製のリング使用を見直し、環境に配慮した材質での作成と、総事業費の圧縮に努めてまいりたいと思っております。印刷製本に係る費用のうち、24万円を振興基金の補助として予定しております。

続きまして、浜益区水産物等普及プロジェクト事業です。朝市やみなと祭りなどの実施に係る事業です。今年度の朝市は全4回実施し、延べ3,000人の来場がありました。8月6日に実施した、みなと祭りには約1,300人の来場がありました。本事業は継続中で、今後、浜益中学校生徒向けの出前講座を予定しております。

最後に浜益フットパスウォーク事業です。今年度、5月、6月、9月と3回実施しており、延べ28人が参加しております。こちらの事業も継続中で、1月中旬を目途にスノーシュー、かんじきを履いたプログラムを実施予定です。

### 【渡邊会長】

事務局から説明のあった報告事項について、ご意見ご質問等ありませんか。なければ、報告事項を終了します。

## 4 協議事項

### 【渡邊会長】

協議事項に入ります。一つ目の石狩市過疎地域持続的発展市町村計画の達成状況に関する評価について、企画課から資料の説明をお願いします。

## 【宇野課長】

前回は、事業の概要を説明させていただき、計画の推進状況の評価をしていただくまでの流れを説明しました。

今回は追加の資料を用意しまして、更に理解を深めていただきながら、最終的に評価をいただきたいと考えております。資料は分野別の事項に関する資料と、円グラフが載っておりますカラーの資料で説明いたします。

それでは、分野別の事項に関する事業の実施状況についてをご覧ください。右側の四角枠に、浜益区、厚田区別に令和3年度に実施した事業内容を記載しております。

まず、移住定住促進、地域間交流、人材育成ですが、民間アパートの建設運営支援事業です。今年度が2年目の取り組みで、浜益区に一棟6戸の民間アパートへ補助を行っています。

続きまして産業の振興です。資料の5ページをご覧ください。上から丸の3つめと4つめの事業です。私有林の造林支援や市有林の整備と林業振興に努めております。漁業に関しては、ウニ、アワビ等の水産資源の増殖事業を実施しています。

資料の6ページをご覧ください。日本型直接支払交付金事業ですが、農業生産活動の維持向上を図る事業をしながら、鳥獣被害から農作物を守る、生産活動を守る事業も行い、なおかつ、作ったものを守る事業も行いながら、農業の振興に努めております。

資料の7ページです。4の交通施設の整備、交通手段の確保については、川下地区の道路の排水整備を実施したほか、公共交通確保事業として、皆様の生活の足の確保のため、デマンド交通や、スクールバス混乗の運営に取り組んでいます。

資料8ページ、5生活環境の整備は、上水道施設の整備として、幌地区の送水ポンプ場の機械と電気設備の更新を行いました。

資料9ページ、消防施設の充実のため、浜益の分団の車庫及び積載車を整備しています。また、危険施設撤去として、老朽化で使用できなくなった川下、柏木コミュニティセンターの解体及び撤去を行いました。防災対策としては、地域の防災計画に基づく各種整備のほか、実田会館をはじめとして、可搬型の発電機の整備をしています。

資料の10ページ、7医療の確保については、適切な医療サービスの提供を維持するため、老朽化した内視鏡洗浄機を更新しました。

資料12ページ、10地域文化の振興等については、地域の貴重な歴史文化の保護継承によるまちづくりを推進するため、郷土資料館の石垣の修繕を実施しました。

このように各分野において各種事業に着手して進めています。

過疎計画補足資料は、計画全体における分野別の事業実施数を表とグラフにしたものです。事業実施数については、事業全体と厚田、浜益分をそれぞれ掲載しております。隣が実施事業費となっておりますが、事業によっては厚田、浜益を含む石狩市全体で取り組んでいるものや、厚田、浜益一体で取り組んでいるものもあり、厚田分、浜益分をきっちりと分けられない部分があります。事業費は事業自体の全体額を掲載しているので、大体の目安として見ていただければと思います。

各分野において実施した事業を見ると、産業、経済、生活環境に関わるものに関する取り組みに重点が置かれています。

過疎地での生活維持には多方面の要素が必要であり、1から11まで、すべての分野に事業が渡るよう配慮しながら事業を実施しております。全体事業計画数が91件あり、令和3年度実施分として、浜益分は33事業と約4割弱の事業に着手しております。資料の2枚目が、事業数を厚田分、浜益分に分けたものです。共通する部分は産業の部分、生活の部分に重点が置かれている傾向にありますが、地域によって若干の構成の違いが見てわかります。基本的には、産業経済に重点を置きつつ各分野にわたって事業を実施し、浜益での生活の持続性を高めるとともに、数値化は難しいですが、住んでいる方の満足度に寄与するため、計画を進めていると考えております。

以上の実施事業をご覧くださいながら過疎計画全体の説明をしました。今後の取り組みについては効果検証を踏まえて実施する必要があり、目標値を設定しながら、計画に基づく事業がどのように取り組まれているかを、評価をいただくことになっております。目標として、将来人口推計の人口の減少数を抑制し、定住人口の維持を目指しておりますが、実際には人口減少のスピードは速まっている状況です。しかし、実際の人口減少の内容を見た時に、転出入の差である社会増減については、対前年度よりも若干の減少が見られます。このことについて、前回の協議会にて、徳地委員より、社会増減の中身で職業の内訳がわかるものなのかと、それによって、どういう部分に本計画に基づく事業の効果があって、何に力を入れなくてはいけないのかということがわかるのではないかとのご意見もいただきました。当方も持ち帰って、確認をしましたが、職業の増減まではわ

からない、転入届をしたときのチェック項目に職業は聞き取る項目に無いので、ルール上、転入時点での就業先の捕捉は難しい状況です。

ただ、5年に1回の国勢調査の中では職業欄が調査項目としてありますので、5年のスパンの中でデータの捕捉は可能と思いますが、リアルタイムのデータはわからないという状況ですので、今後どういう方法で捕捉ができるかを宿題にしながら考えていきたいと思います。

そこで、今回のご意見等評価につきましては、以上の色々な計画の中身を見ていただき、これを踏まえて、地域協議会から評価をいただきたいと考えております。

ただ、評価と言いましてもイメージしづらいかと思っておりますので、例えばの案ですが、令和3年度の事業を振り返りつつ、持続的発展に資する各事業を実施したが、目標とする人口減少の抑制については、社会増減のマイナス幅が対前年度より縮小が見られたものの、全体としては推計値より減少が進んでいる結果を踏まえ、今後とも目標の人口減少の抑制に向けて、引き続き過疎計画の確実、着実な推進と、様々な視点を取り入れ、どこに力をいれて取り組んでいくなど社会情勢の変化を柔軟に取り入れて目標の達成に取り組んでもらいたい、といったような評価イメージであると考えておまして、様々な視点の部分やどこに力点をおくかという部分を、これまで、地域協議会の中で課題としてご協議いただいた中で、この過疎計画で、ぜひ取り入れてもらいたいということがあれば、それも踏まえた形で評価という形にできればと考えております。これは、厚田の地域協議会においても評価をいただきますので、今ご説明しました評価のイメージを、ある程度統一していきたいと考えております。様々な視点や力点を置くところ、どういう考え方等について、各地区のオリジナルの部分を取り入れていければと考えております。

#### 【渡邊会長】

宇野課長から、前回の振り返りと、2つの資料を交えながら説明がありました。計画の内容、取り組んだ事業やこれからの事業に関して質問や確認事項等ありませんか。

個々の事業の評価ではなく、過疎計画の目標は、将来推計人口の減少を少しでも食い止めることと、定住人口を維持することであり、過疎計画に盛り込まれている様々な事業の内容について、効果があったのかということが評価になるかと思えます。

目標の達成には何が必要であり、どんな視点や考え方、どんな取り組みが計画に必要なのか、それらが全て網羅されているか、これから事業を進めていく中で、こんなことを重点的に取り組んでもらいたいという考え方等、ご意見ございませんか。

#### 【事務局】

1点確認です。諮問事項ではないので、答申という形はないと思いますが、評価の内容を文書化して企画課に提出するイメージですか。

#### 【宇野課長】

いえ、協議会の会議の中でのご意見を、我々が承りますので、文書で提出いただくものではないです。

#### 【事務局】

過疎計画について補足しますと、広い分野を色々な視点から過疎対策として、様々な事業に取り組む計画です。今、求めがあったのは、この協議会の中で、特に浜益区地域協議会として、こういう部分に力を入れたら、もっと良いのではないかという意見をいただければ、それを受け止めていきたいという観点で、委員の皆さんが思いつく部分がありましたら発表していただきたいと思えます。

#### 【徳地委員】

過疎に対する総合的なこととしては、今、過疎地域で人口が少しでも増えているところは、面白いというか、変わった働き方、変わった生活を、まち全体で推し進めているところが、人口増につながっています。そこを推し進めたいのですが、それが過疎計画の中のどこの分野かわからないですし、具体的に何をやるかというのもまだわからない状態ですが、表現するのが難しいですね。

#### 【宇野課長】

我々も、過疎の地域の取り組みについては、色々な文献や情報等も入れながら、計画にも盛り込めるものは盛り込んでいます。日々様々な対策の中で考えていますので、今のご意見については、成功事例の研究や調査も含めて、できるものは取り入れてもらいたいという、そういった趣旨で受け止めさせていただければと思います。

#### 【柿岡委員】

移住定住について、移住定住につながる前段階、関係人口の創出という部分で、浜益に来た人が滞在できる拠点が本当に少ないです。定住のため来てくれた方の住居が少ないのも問題ですけど、

その一歩前の、お試しの様な短期滞在ができる施設の拡充に取り組みたいと思っています。それにつながる住居、空き家問題の解決及び、人材確保のためのPR活動、地域の人たち向けの研修事業を行って、よその地域がどういう取り組みをしていて、どういう効果につながっていくのかということ、区民の方々が見て学ぶ機会を増やす必要があると考えています。

#### 【宇野課長】

今、お話いただいた部分については、資料の1 移住定住地域間交流促進・人材育成の部分に、移住定住を図るための空き家の利活用等、地域間交流とあります。人材育成の部分 皆さんや、支所と考えながら、どういう手法で取り組めるのかということを考えていきたいと思っています。

#### 【徳地委員】

浜ワークに来た2人目の方が、インターネット等で浜益の情報を収集しようとしたところ、あまりにも情報が少なく、実際に浜益に来るまで、凄く不安だったと話していました。それを踏まえると、対外的な情報発信の部分を頑張ると移住につながるのではないかと思います。個人のSNSを少し探した程度で終わったようで、検索しても出てこず、出てきても知りたい情報が載っていなかったということで、実際に移住したい人にとっては情報が足りないですね。

#### 【宇野課長】

ここを見れば、色々な情報がわかるという所までたどり着かないということですね。

#### 【徳地委員】

街や人の雰囲気わかるものが何もなかったのも、浜益に来るまでとても不安だったと話していました。

#### 【事務局】

みなさんとの高齢者に優しいまちづくりについて議論してきた中で生まれた、浜益web情報館事業も手法のひとつだと思いますし、エゾロックさんが作成した集落の教科書も、そこに組み込みながら、企画課をはじめ石狩市全体としても、いろいろ情報発信を進めていただきたいです。また、浜益区としても、地域協議会としても、情報発信に努めていきたいという部分を、来年度事業のどこかの単元に位置付けていただければと思います。

もう一点、先ほどの徳地委員の意見は浜ワークにもつながると思います。資料を確認していたのですが、資料7ページの、2産業の振興の産業振興促進事業を幅広く考えると、来年度以降、過疎計画での位置づけも確認しながら進めていただければと思います。

#### 【水崎委員】

資料の11ページですが、浜益区に関係しているのはどれですか。学校は国と道と市の施策を受けて、色々取り組んでいるので、文科省や道教委からは学力向上、体力向上を期待されます。今年、石狩市は読むことを重点に挙げていますので、読書しなさい、新聞読みなさいと言った時に、体育施設や図書館など、上部機関の施策を鑑みて整備をお願いしたいと常々考えております。

#### 【川村集落支援員】

情報提供です。主に高齢者の方々と触れ合ったり、集落を回って地域の声を聞く中でよく言われることが2つあります。1つはデマンドバスについて、使いたいときにうまく使えない、土日祝日に使えたら便利だという声があります。

もう一つは、子育てをしている方から、学童保育が欲しいということです。浜益区は、子ども同士の家が離れている環境です。特に小学校の保護者の方は、子ども同士を遊ばせるために、親が相手の家に連れて行かないと遊ばず、子どもたちが学校以外で集える場所が、なかなか無いという声があります。

地域を振興するということと、教育を創生していくということをうまく組み合わせ、過疎地に外部から子どもたちを招いたり、色々な形で働きに来る方に地域の魅力を発信して、呼び込もうという先事例が全国にいくつかあります。そういう発想を地域の方だけではなく、行政側が目を向けて欲しいとの声があります。

#### 【宇野課長】

学校の部分ということでは、なかなか全てを網羅したところはないと思いますが、それぞれの要素で考えますと、8教育の振興の(3)学校教育充実事業に当てはまるかと思っています。あとは、1から11の分野別の連携で取り組み可能ではないか、検討の可能性があるのではないかと思います。

#### 【渡邊会長】

子育て支援の面で、学童保育については以前の地域協議会でも話が出ていたと思います。特別、過疎計画の中では、この部分だけに特化することにはならないと思います。

全体を通して、細部にわたって、諸々の施策を実施した中で、地域の発展につなげていくという

ことにしか当てはまらないですか。

**【宇野課長】**

もちろん、過疎計画に沿って飲み込める部分は当然推進します。しかし、必ずしも計画の中に載っていないから取り組まないというわけではなく、地域の必要性や、重点として取り組んでいくべきものであれば、様々な事情も考慮しながら推進できると思っています。今のようなご意見を、地域協議会としての協議事項、ご意見として、できるところの部分は施策として取り入れていきたいと思っています。

**【事務局】**

令和4年の過疎計画の評価について、浜益区地域協議会の会議の中で、学童保育の必要性の話が出ていたということ、次の見直しにつなげていくような記録をしていただければと思います。

**【渡邊会長】**

過疎計画の取り組みの評価ですが、人口減少の抑制や過疎化という非常に大きな問題に関わるものです。なかなか、具体的な数字で成果を得ることは難しいと考えています。本計画の目標達成の為に、方向性や基本的な考え方、具体的な取り組みについて、概ね今回の計画に盛り込まれているのではないかと私なりに考えています。

今後も人口減少抑制への取り組みと、地域の持続的発展のため、引き続き本過疎計画の確実、着実な推進と、社会情勢の変化を柔軟に取り入れながら、計画に掲載されている取り組みについて、今後も着実に、粘り強く進めていただき、浜益区、厚田区、両区の持続的発展を目指していただきたいと思っています。企画課におかれましては、今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

**【宇野課長】**

はい、ありがとうございます。

**【渡邊会長】**

それでは続きまして、協議事項2、令和5年度地域自治区振興事業について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

令和5年度の地域自治区振興事業は2つの継続事業と1つの新規事業を提案させていただきます。

まず一つ目は区民カレンダー制作事業です。今年度、材質等を見直した内容を元に、1,000部作成予定としまして、同額の24万円の補助を見込んでおります。

二つ目が水産物等普及プロジェクト事業です。本年度と取り組み内容は変更ありません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況の推移によって、実行委員会内で協議をしながら、内容を情勢に合わせて実施するものと思われまので、188万円の補助を見込んでおります。

続きまして、今年度これまで皆さんと協議を重ねてきました、高齢者に優しいまちづくり推進事業についてです。当初予算では、浜益宝箱事業と防災浜リユク事業の実施を提案します。

浜益宝箱事業については、浜益区の文化芸術、歴史的資料のほか、現在の浜益の姿を浜益の宝として後世に伝承し、高齢者の語りを素材として、生きた文化を伝える取り組みです。石狩市浜益地域づくり基金の用途について、第7に規定する、村のあゆみの記録保存など、経過措置事業として実施します。実施主体は浜益区コミュニティ普及推進事業実行委員会を見込んでおまして、経費を補助します。補助率は100%です。様々な情報を盛り込み、色々な場面で活用していきたいと考えております。

防災浜リユク事業は、区民が、災害時にそれぞれの集落の避難所まで、安全に避難するために必要な携行品を自己負担は発生しますが配布をしまして、各地区で行われる避難訓練等で活用していただいたり、防災に備える意識や、助け合いの意識の高揚を図る取り組みです。実施主体は浜益区自治会連合会を見込んでおり、かかる経費の4分の3を補助します。

**【渡邊会長】**

事務局から、来年度の3点の地域自治区振興事業について説明がございました。ご質問、ご意見等ありませんか。

今、事務局から提案のあった3事業について、令和5年度地域自治区振興事業として、予算要求することを確認してよろしいですか。

— 一同了承 —

次に令和5年度浜益区地域おこし協力隊活動事業及び浜益区集落支援員活動事業について、説明をお願いします。

## 【事務局】

はじめに、地域おこし協力隊活動事業です。現在、井上優太隊員が継続して果樹園の作業支援や、都市部学生の区内体験活動等、関係人口の取り組みを行っており、令和5年9月末日をもって、3年の任期が一区切りとなります。

来年4月の新年度からは、井上隊員の活動継続、新規隊員1名採用の予定で、必要な予算要求を行います。新規募集の1名については、これまでどおり「フリーミッション型」を基本としておりますが、近年テーマとして掲げております、「高齢者サロンの企画・運営」ですとか、「浜益ソウルフードの継承」のテーマに沿った募集も行っております。令和4年度の応募が現状無い状態ではありますが、今後は、地域がどういう人材を求めているのかも含め、より具体的なミッションの設定など、新年度の募集要項作成の際に、地域協議会の場でも議論していただきたいと考えております。

直近では、来年の1月、東京にて、関係人口や実際に移住定住の提案をさせていただくイベントに参加し、積極的にPRをして参ります。

次に、集落支援員活動事業です。令和4年4月1日より、川村支援員と柿岡支援員の2名が着任し、活動しております。

川村支援員については、青空体操やいきいき楽習など、高齢者の取り組みへ積極的に参加し、地域住民から課題のリサーチや、文化活動団体の活動支援に積極的に取り組んでおられます。

柿岡支援員については、浜ワークに採用となったお二人と地域を繋ぐ活動など、浜ワーク運営の後方支援や、今後の移住定住者へ向けた空き家データの収集・整理に取り組んでおります。

また、お二人の共通の活動としまして、月末の回覧・広報配布の際に、各自治会長や連絡員の方との対話を行っております。

令和5年度以降についても、同様の活躍を継続していただき、集落における地域課題の掘り起こしや、移住定住の促進等、浜益の暮らしを支える活動に取り組んでいただきたいと考えております。

更には、地域おこし協力隊との連携によって相乗効果を生み出すべく、地域協議会も一丸となって協力、支援を行ってまいりたいと考えておりますので、ご支援・ご協力等、よろしく願いいたします。

## 【渡邊会長】

事務局から、地域おこし協力隊及び集落支援員について説明がありました。ご意見ご質問等ありませんか。

来年の1月に行くのは、東京のイベントですか。

## 【事務局】

Joinという機構が開催する、移住・交流&地域おこしフェアと、さっぽろ連携中枢都市圏が実施するイベントにそれぞれ1日ずつ出展しまして、移住定住も含めて、地域おこし協力隊にも興味ありませんかという提案をさせていただき、浜益はこういう地域ですよ、石狩はこういう地域ですよ、より興味を持ってもらえるような活動をして参りたいと考えております。

## 【渡邊会長】

令和5年度浜益区地域おこし協力隊活動事業及び浜益区集落支援員活動事業について、ご質問、ご意見等ございませんか。

— 意見・質問等なし —

地域おこし協力隊及び集落支援員については事務局提案のとおり、進めていただきたいと思っております。

## 5 その他

### 【渡邊会長】

次に、その他です。この場を使って何か話題提供等ありませんか？

### 【事務局】

お手元にアンケート調査へのご協力についてという両面刷りの資料を配布しております。こちらは、先ほど協議事項の中でも触れました高齢者に優しいまちづくり推進事業のうち、議論いただいております、浜益冬のあんしん事業に関連するニーズ調査で、現在各自治会を經由して、皆さんのところに配布し、アンケート調査を実施しております。10月18日に、自治会連合会の第2回総会が開かれ、その中で、アンケートの趣旨を明示するようにとご意見をいただきましたので、それを表面に記載しまして、裏面にアンケートという両面刷りの体裁になりました。アンケートの締

め切りは、記入が終わったら班長に提出していただく形で、11月18日までとなっておりますので、次の地域協議会には、その結果もお知らせできると思います。このアンケート調査の結果も踏まえながら、今シーズン、お試事業の実施ができるかどうか、それから、来年度この事業の具体化ができるかどうかも含めて、地域協議会の場で議論を進めていただければと考えております。

**【渡邊会長】**

事務局から、排雪サービスに関するアンケート調査について説明がありました。何か質問等ございますか。

なければ、他に話題提供等がある方お願いいたします。

**【柿岡委員】**

浜益観光まちづくり推進協議会から、宣伝と告知です。11月12日に、花川北コミュニティセンターで「まちフェス」というイベントが行われます。石狩の事業者等が集まって行う物販イベントです。そこに、まち協も参加して、浜益産の加工品を中心に商品売りつつ、観光PRをしてみたいです。

また、先の話になりますが、2月11日に3年ぶりとなります、イチイの木をめぐるスノーシューツアーをアミーケ・インターナショナルさんと共催して行うことになりました。地域の方々にもご協力を願うので、その時はよろしくお願いいたします。

**【渡邊会長】**

その他、委員さんからありませんか。では、事務局からお願いします。

**【事務局】**

浜益小劇場の宣伝です。11月13日、浜益小劇場3年ぶりの第20回定期公演が浜益コミュニティセンターきらりで行われます。今回の演目は「もっと演劇がやりたいんです 浜益小劇場物語」で、平成11年の浜益小劇場の結成から、現在に至るまでの物語を演じます。それぞれのメンバーが、自分で自分の役を演じるかたちで、私たちもどういう芝居になるか探り探り練習をかさねています。感染防止策に留意、徹底して行おうと考えております。

お越しいただける方は、マスク着用の上、切符を買っていただいて、ご来場いただければと思います。よろしくお願いいたします。13:30開場、14:00開演です。

**【徳田委員】**

浜益小学校からです。今月6日に浜益小学校の学芸会が無事に開催でき、たくさんの方々に来ていただきましてありがとうございます。北海道新聞の取材も受け、無事終わりました。

**【渡邊委員】**

わかもん会から報告です。新聞記事にもありますが、ハロウィンのイベントとして、子どもたちが川下地区を歩いて訪問し、協力してくださるご家庭からお菓子をもらうというイベントを初めて行いました。

協力してくれた方もたくさんいましたし、自分たちは川下以外の地域だからと、お知り合いにお菓子を託してくれたりしておりまして、子どもたちは大きな袋に3つくらいのお菓子を1人分として持って帰ることができました。協力してくれたご家庭の方も凄く楽しみにしてくださっていて、おばあちゃんたちもニコニコして出迎えてくれて、毎年恒例で行われていた、七夕のろうそく出せも無くなってしまったので、たまに、子どもたちが訪ねて行くというのも良いものだなと感じました。コミュニティセンター等でイベントを行っても、お年寄りが会場に行くのは難しいですし、学校以外で子どもを直接見る機会もなかなかなくて、イベントを行って良かったなと思っています。

来年、行うかどうかはまだ未定で、実施場所も決定しておりませんが、自分たちの地区にも来て欲しいという要望等がありましたら、ぜひ、わかもん会へお知らせください。

**【徳地委員】**

もう、要望が結構来ています。ただ、ハロウィンの時期は寒いので、七夕復活にしようかとも考えています。

**【渡邊会長】**

子どもたちが少なくなり、地域で子どもたちの姿を間近に見たり、子どもたちの訪問も無くなっていますから、お年寄りの皆さんも今回のハロウィンイベントを楽しみにされていたと思います。ただ、新型コロナ感染症感染拡大防止の観点で、親御さんの心配の声はありませんか。

**【渡邊委員】**

家の中まで入ることはなく、玄関先で手渡しするだけのイベントとしたので、心配はないかと思いましたが、もちろん、手指消毒とマスク着用は徹底して行いました。

**6 次回の開催日程について**

**【渡邊会長】**

次回の会議日程について、事務局からお願いします。

**【事務局】**

次回の地域協議会は、おおむね12月、あるいは年明けの1月を目途に開催したいと考えております。日程調整をして改めてご案内したいと思います。よろしくお願いいたします。

**7 閉 会**

**【渡邊会長】**

それでは、以上を持ちまして、第6回地域協議会を閉会といたします。長時間お疲れさまでした。

令和4年12月8日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 渡 邊 隆 之